

東京学芸大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		東京学芸大学		設置者名	国立大学法人 東京学芸大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数	
教育学部		590人			578人	494人	280人	
	初等教育教員養成課程	400人	小一種免 中一種免(国語)	昭和63年度 昭和63年度				407人 70人
	中等教育教員養成課程	155人	中一種免(社会)	昭和63年度				58人
			中一種免(数学)	昭和63年度				65人
	特殊教育教員養成課程	35人	中一種免(理科)	昭和63年度				61人
			中一種免(音楽)	昭和63年度				23人
			中一種免(美術)	昭和63年度				20人
			中一種免(保健体育)	昭和63年度				44人
			中一種免(保健)	昭和63年度				0人
			中一種免(技術)	昭和63年度				10人
			中一種免(家庭)	昭和63年度				22人
			中一種免(英語)	昭和63年度				18人
			高一種免(国語)	昭和63年度				69人
			高一種免(地理歴史)	昭和63年度				54人
			高一種免(公民)	昭和63年度				52人
			高一種免(数学)	昭和63年度				65人
			高一種免(理科)	昭和63年度				59人
			高一種免(音楽)	昭和63年度				21人
			高一種免(美術)	昭和63年度				20人
			高一種免(工芸)	昭和63年度				8人
			高一種免(書道)	昭和63年度				7人
			高一種免(保健体育)	昭和63年度				44人
高一種免(保健)	昭和63年度	0人						
高一種免(家庭)	昭和63年度	22人						
高一種免(工業)	昭和63年度	10人						
高一種免(英語)	昭和63年度	17人						
幼一種免	昭和63年度	123人						
聾学一種免	昭和63年度	21人						
養学一種免	昭和63年度	47人						
生涯学習課程					75人	27人	3人	
学習社会文化専攻	45人	中一種免(社会)	平成2年度	3人				
		高一種免(公民)	平成3年度	3人				
生涯スポーツ専攻	40人	中一種免(保健体育)	平成2年度	22人				
		高一種免(保健体育)	平成2年度	24人				
人間福祉課程					83人	9人	2人	

カウンセリング専攻	35人	中一種免(社会)	平成2年度			3人	
		高一種免(公民)	平成3年度			3人	
総合社会システム専攻	40人	中一種免(社会)	平成2年度			6人	
		高一種免(公民)	平成3年度			6人	
国際理解教育課程				119人	35人		0人
国際教育専攻	15人	中一種免(社会)	平成12年度			8人	
		高一種免(公民)	平成12年度			7人	
多言語多文化専攻	15人	中一種免(英語)	平成12年度			2人	
		高一種免(英語)	平成12年度			2人	
日本語教育専攻	15人	中一種免(国語)	平成12年度			7人	
		高一種免(国語)	平成12年度			7人	
日本研究専攻	20人	中一種免(社会)	平成12年度			5人	
		高一種免(地理歴史)	平成12年度			5人	
		高一種免(公民)	平成12年度			0人	
アジア専攻	20人	中一種免(社会)	平成12年度			2人	
		高一種免(地理歴史)	平成12年度			4人	
		高一種免(公民)	平成12年度			2人	
欧米研究専攻	20人	中一種免(社会)	平成12年度			5人	
		高一種免(地理歴史)	平成12年度			5人	
		高一種免(公民)	平成12年度			5人	
環境教育課程				105人	45人		8人
環境教育専攻	25人	中一種免(社会)	平成12年度			3人	
		高一種免(地理歴史)	平成12年度			4人	
		中一種免(理科)	平成12年度			3人	
		高一種免(理科)	平成12年度			3人	
自然環境科学専攻	55人	中一種免(理科)	平成2年度			26人	
		高一種免(理科)	平成2年度			27人	
文化財科学専攻	20人	中一種免(社会)	平成2年度			9人	
		高一種免(地理歴史)	平成3年度			11人	
		中一種免(理科)	平成12年度			0人	
		高一種免(理科)	平成12年度			0人	
情報教育課程				59人	28人		5人
情報教育専攻	45人	中一種免(数学)	平成2年度			23人	
		高一種免(数学)	平成2年度			26人	
		高一種免(情報)	平成13年度			0人	
芸術文化課程				68人	38人		8人
音楽専攻	20人	中一種免(音楽)	平成2年度			13人	
		高一種免(音楽)	平成2年度			14人	
美術専攻	20人	中一種免(美術)	平成2年度			11人	
		高一種免(美術)	平成2年度			12人	
書道専攻	10人	高一種免(書道)	平成2年度			11人	
表現コミュニケーション専攻	15人	中一種免(英語)	平成12年度			1人	
		高一種免(英語)	平成12年度			1人	
入学定員合計	1065人		合計	1102人	679人		306人

備考

・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科の実人数を、右側には学科内の教員免許課程ごとの人数を記載している。

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等	
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成の基幹大学として、教員養成の水準、組織などさまざまな面において、全国のモデルになるような取り組みを期待する。 	
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員養成課程に教科専門性をもたせるような仕組みを置くほか、独自の科目を置くなど、質の高い教員養成に向けた積極的な姿勢が見られる。 	
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「教育の理念と歴史」「教育心理学」「障害児の発達と教育」の一部において、シラバスの内容が簡略かつ不明瞭である。 ・複数教員担当の授業科目「教育組織論」「教育心理学」などのシラバスにおいて担当教員による記載内容の差が見られる。 ・総合演習について、総合的な学習の時間の対応になっていたり、テーマ設定が狭い分野に限定されていたり、フィールドワークに終始している。 ・授業科目「道德教育の研究」「特別活動の理論と方法」「初等理科教育法」ほか複数の各教科の指導法に該当する授業科目において、学習指導要領を取り扱っていない。 ・授業科目「基礎物理学」など、名称も含めて小学校教員養成に適切な科目かどうか位置付けが不明確である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスについて、同一科目は統一性を持たせ、学生に何を学ばせるか明記してほしい。 ・科目設定の趣旨や、施行規則において各科目に含めることが必要とされている事項や科目区分の設定などを、再度確認し、適切な科目設定を行うこと。 ・左欄の授業科目において、学習指導要領を取り扱ってほしい。 ・小学校教員養成課程における授業科目「基礎物理学」などの科目設定について、授業科目名称を適切なもの変更するなど、学生の誤解を招かないようにすること。
	教育実践	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地から学生が来ており、母校で教育実習を受ける学生の実習校に、担当教員が訪問できない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠方での教育実習について、テレビ会議システムなども活用し、各地域の教育委員会やOBなどと連携して、実習校に任せきりではない教育実習の充実したモデルを提示してほしい。

<p>教職指導、 介護等体 験等</p>	<p>・教育実習期間中の他の授業科目の履修については、単位の二重取りと受け取られかねないケースがある。</p>	<p>・単位の二重取りがないように、対策を検討すること。</p>
<p>免許状取得状況及び教員就職状況</p>	<p>・教員就職者数が、年々減少傾向にある。</p>	<p>・東京都などでの教員採用者数の拡大が予想されるので、免許状取得者や採用者の増加に向けた取り組みの改善を図ってほしい。</p>
<p>施設・設備 の状況</p>	<p>・高一種免(工芸)(工業)や幼一種免の教科に関する科目、聾一種免の特殊教育に関する科目に係わる図書の種類が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高一種免(工芸) : 66冊 ・高一種免(工業) : 171冊 ・幼一種免 : 87冊 ・聾一種免 : 173冊 	<p>・各研究室に図書を置いており、現在も検索可能な状態になっているとのことだが、今後は図書館に置くなどの工夫により、さらに便利になるように整理してほしい。</p>